

## バイクの契め



**事** 故はいやですね。事故った本人は無論のこと、他から見てるだけでも辛い。なぜ事故ったか、わけを聞くと答は色々です。前の車が突然右折した、誰かがわき道から飛び出した、路面に砂が浮いて滑った、などなど。でも、もう一歩踏み込んで考えれば、原因は一つなんです。先を読めなかった、それだけの話です。

**フ** レディースベンチャー、若くして500と250のダブルタイトルを獲った天才ライダーですが、彼に聞いたエピソードで、今でも頭に焼き付いていることがあります。彼は、いつも父親に云われたそうです。「誰よりもゆつくり走れ。ゆつくり走る奴が勝つんだ」と。

**我** 々でも理解できる言葉になおすとすれば、ゆつくりと回りを見ることも出来る。「そう云うことでしょ。落ち着いて先を読めば、他の動きも見え、路面を選んで良いラインを取れる、マシンの特性を掴んで限界まで使える。しかも、こけない。だから勝てる。さすがは天才ライダーの父親、云うことが違う。

**レ**ースの観戦では、とかく、華麗なテクニックが目行く。でも、そんな時、フレディーの言葉を思い出してください。レースの勝敗も、その鍵は心です。先を読もうとする心がある、初めて、華麗なテクニックも活きるのです。



バイクは、先を読み、危険を回避する能力を高めるスポーツです。

それは、一般道を走るときでも同じです。先を読みさえすれば、他の動きが見える、車が右折しそうなのも分かる、何か飛び出しそうな所では止まる準備をする、路面の様子も良く見る、事故なんて起こすわけがない。事故は起こさない、そう心に決めて先を読む。それで、事故は防げるんです。

バイクのうまい下手は、先を読めるか読めないかです。フレディーも云いました。先を読める人が、速いんです。だから、バイクは、先を読み、

事故を回避する能力を高めるスポーツなのです。先を読もうとすれば、知力を刺激し感性を磨きます。先を読む能力を高めて憧れた人をつくる、それがバイクです。

二十一世紀に向い、世の中の動きは、速くなる一方です。そんな中を生き抜くに不可欠なのは、先を読む力です。バイクは、その力を高めます。だから、バイクは、憧れた人づくりのツールです。

**バイク万歳!**

次号PART②では、「老化を防ぐバイク」をテーマに掲載予定です。